

採点基準表

審査項目			審査の観点	配点
1. 本業務に関する考え方				60
	(1)	本業務に関する理解	本業務の目的や趣旨を理解した提案となっているか。	60
2. これまでの業務実績				30
	(1)	メタバース空間の業務実績	過去にメタバース空間を制作した経験や同類事業の受託の実績が豊富か。	30
3. メタバース空間の環境構築				130
	(1)	基本仕様について	システム全体の構成や各機能が充実しているか。	30
	(2)	メタバース空間について	①利用者が興味・関心を持てる空間となっているか。 ②拡張性に関して考慮されているか。	30
	(3)	アバターについて	利用者にとって利用しやすく、また、魅力的な内容か。	10
	(4)	利用者機能について	利用者にとって利用しやすく、また、魅力的な内容か。	30
	(5)	管理者機能について	管理者の操作性が高く、管理しやすい仕様となっているか。	30
4. 管理者及び利用者向けのマニュアル提供				20
	(1)	マニュアルの内容	機能や操作についてスムーズに理解できるような内容となっているか。	20
5. サポート及び研修				40
	(1)	サポート体制	システムの運用にあたり、適切な保守・サポートの提案がなされているか。	20
	(2)	研修	研修について分かりやすく効果的な内容となっているか。	20
6. セキュリティ対策				40
	(1)	データの取り扱い	①個人情報の取り扱いは適切か。 ②データの保存先及び保存方法は適切か。	20
	(2)	事故や障害発生時の対応	①情報セキュリティ事故が発生した場合の対応は適切か。 ②障害発生時のバックアップ体制等は適切か。	20
7. 業務遂行体制				70
	(1)	スケジュール	期限内での遂行が可能であるか。	20
	(2)	進捗管理	管理方法が適切であるか。	20
	(3)	実施体制	①本業務を確実に遂行する実施体制が確保されているか。 ②導入と運用を見据えた実施体制が構成されている。	30
8. 有効な追加提案			・評価対象項目2～5にまたがる提案	210
	(1)	児童生徒の興味・関心を引くための工夫	様々な不登校児童生徒の参加を促し継続して利用したいと思える工夫で興味・関心を引くための効果的な工夫が盛り込まれているか。	70
	(2)	児童生徒の心理的安全・安心のための工夫	不登校児童生徒の心情に寄り添った安全・安心につながる工夫が盛り込まれているか。	70
	(3)	その他の提案	その他不登校児童生徒支援の独自の工夫等が積極的に提案されているか。	70
企画点 合計				600
9. 契約金額				100
10. 2年間（R8～R9）の保守運用費用				100
価格点 合計				200
合計				800